

会 議 録 要 旨

会 議 名	令和4年度 第1回 大垣市介護保険運営協議会
場 所	大垣市役所4階 情報会議室
日 時	令和4年10月5日 15:30～16:45
出 席 者	委員12名（別紙に記載） （事務局）健康福祉部長 介護保険課：課長、主幹3名、主査1名 高齢福祉課：課長、主幹4名 保健センター：所長、主幹1名
司 会	<p>皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、令和4年度大垣市介護保険運営協議会の第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、介護保険課長の富永でございます。よろしくお願いたします。本日は、新しい任期の委員委嘱後の初会合でございますので、会長が決まりますまで、私が進行役を務めさせていただきます。</p> <p>ここで、一言お断りをさせていただきます。皆様のお手元に、委嘱状を置かせていただいております。時間の都合上、お一人ずつお渡しすることは省略させていただきますので、ご了承賜りたいと存じます。</p> <p>それでは、はじめに、健康福祉部 三浦部長よりごあいさつを申し上げます。</p>
健康福祉部長	《 挨拶 》
司 会	<p>次に、次第の3、「委員の紹介」に移らせていただきます。会議資料の1ページ、資料No.1をご覧ください。こちらの名簿をもちまして、委員の皆様のご紹介にかえさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>なお、このたび新たに、学識経験者として、中部学院大学人間福祉学部学部長の飯尾良英様に、第1号被保険者代表として、高橋美和子様に委員に就任いただきました。</p> <p>また、大垣市連合自治会連絡協議会の酒井委員が退任されまして、新たに連合自治会連絡協議会副会長の清水十三男様に就任いただきましたので、ご紹介させていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>本日の会議には、片野委員、大石委員、西田委員から、ご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。</p> <p>次に、次第の4、「議題」に移らせていただきます。</p> <p>はじめに、議題の(1)、「会長並びに副会長の選出について」でございます。大垣市介護保険運営協議会設置要綱によりますと、会長は委員の互選</p>

会 議 録 要 旨

により選出し、副会長は委員の中から会長が指名することとなっておりますので、まずは会長の推薦を委員の皆様でお願いしたいと存じます。いかがいたしましょうか。

委 員 委員長には、介護保険及び当協議会の運営に精通されている沼口先生に引き続きお願いしたいと存じます。

司 会 ありがとうございます。ただ今、沼口委員様のご推薦をいただきました。ご賛同いただけます方は、拍手をもってご承認いただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

全 委 員 <拍 手>

司 会 ありがとうございます。それでは、会長には、沼口委員様にご就任いただきたいと存じます。沼口様は、会長席へご移動をお願いいたします。
それでは、沼口会長から一言ご挨拶をいただきます。

会 長 <挨 拶>

司 会 ありがとうございます。それでは次に、副会長につきまして、会長からご指名をお願いいたします。

会 長 副会長には、清水委員にご就任いただきたいと思います。

司 会 ありがとうございます。
それでは、副会長には、清水様にご就任いただきたいと思います。清水様は、副会長席へご移動をお願いいたします。
それでは、清水副会長から一言ご挨拶をいただきます。

副 会 長 <挨 拶>

司 会 ありがとうございます。それでは、これよりの進行につきましては、沼口会長をお願いいたします。

会 長 議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせてい

会議録要旨

ただきます。これより、議事に入ります。本日は傍聴人の方が1名いらっしゃいます。中にお入りください。

それでは、これより、議事に入ります。はじめに、議題の(2)、大垣市高齢者福祉計画（第8期介護保険事業計画）の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 ≪資料No.2により説明≫

会長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

委員 18ページの福祉用具の購入とは、どのようなものが対象となっているのでしょうか。

事務局 入浴の際に使用する腰掛用具などが対象となっています。

委員 16ページ、目標指標3のひとり暮らし高齢者台帳登録者数と緊急通報装置設置台数が目標数値に到達しなかった理由については、コロナの影響との説明がありましたが、そのほか考えられる要因について、どのように分析されているか、補足説明をしていただけませんかでしょうか。

事務局 ひとり暮らし高齢者台帳や緊急通報装置については、民生委員さんからの情報提供に頼る部分が多く、コロナによって訪問等に制限があったという影響がございますが、目標値に達するよう、今後も周知してまいりたいと思います。

委員 地域の実態把握というのはとても大事なことです。特にコロナ禍においてこそ活動が必要かと思っておりますので、今後も引き続きお願いします。

委員 8ページの訪問介護について、給付費が年間で1億円増えていることが読み取れますが、当法人も訪問介護を行っている中で、それだけの伸びはまったくない状況です。要因として、サービス付き高齢者向け住宅の訪問介護の割合が大きくなっているように思いますが、在宅とサービス付き高齢者向け住宅の訪問介護の実績の割合がわかれば教えていただきたいと思っております。

会議録要旨

事務局 割合についてはすぐにお答えできませんが、例えば最近できた3つのサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームでは、訪問介護を併設していたり、提携したりしておりますので、それによって訪問介護の実績が伸びているものと考えております。

委員 現実には、サービス付き高齢者向け住宅が増え続ける中で、既存のホームヘルプ事業においては人材が不足しているということを皆様にも知っていただくため、お話させていただきました。

委員 11ページの福祉用具の購入と住宅改修の数字が減っています。これは、以前であれば長年住み慣れたご自宅を改修したり福祉用具を購入したりして住み続けられる方が多かったのですが、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームが増える中で、最近では比較的抵抗なく入所される方が多いように思います。

一方で、訪問介護については高い数値で推移しています。一般的な在宅のヘルパー以上にサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームのヘルパーが右肩上がりに伸びている現状が表れていると感じているところです。また、一般的な在宅でのヘルパーの事業所はなかなか人材を確保できないというのがあるのかなと感じています。

緊急通報装置も有料老人ホーム等に入ると使う機会も減るため、設置台数の減に繋がっているものと思います。

会長 訪問介護が減っていくことはないと思いますが、利用される場所が変わっていくということだと思います。

委員 小規模多機能型居宅介護は非常にいいサービスだと思いますが、減少傾向にあるのは残念に思います。この数字を伸ばしていただけると人生の最後を豊かに暮らせる人がもっと増えると思います。

地域包括支援センターの担当者やケアマネを通じていろいろとPRしていただくとよいのではと思います。

会長 小規模多機能型居宅介護は大事な仕組みだと思います。ケアマネが変わってしまうという課題もあるかと思いますが、アピールの方法がうまくいくといいのかなと思います。

委員 小規模多機能型居宅介護事業所は、ご家族の協力が得られて事業所とう

会議録要旨

まく連携が図れる場合には非常にいいサービスだと思います。ケアマネが変わってしまうということがネックで紹介に繋がりにくい面もありますが、事業者連絡会としても引き続きしっかりとPRしていきたいと思ます。

事務局

小規模多機能型居宅介護の事業所の稼働率はどうですか。

委員

利用いただける空きはまだあると思います。ただ、事業所によっては人間的な問題で受け入れができないとか、利用が進むにつれてメインが訪問や通所から泊りにシフトし、受け入れが難しくなってショートステイの施設に移られるケースもあるようです。

事務局

先ほどのサービス付き高齢者向け住宅と同様の話ということですか。

委員

看取りまで行うサービス付き高齢者向け住宅もありますので、一度入ってしまえば動かなくていい点では家族や利用者も定着されます。

また、かかりつけ医もそこに来てもらえる点、あまり大きな施設でなく、あまり身構える必要がなく入所に繋がるケースは多いかと思ます。

委員

家族の協力をそれほど必要としなくても、ケアマネがバランスよくサービスを組み合わせてもらえるとうまくいくと思ます。

委員

「居宅療養」とは施設に入っていくものではないと思ます。在宅医療ですので、そのあたりをどのように区分けしているのか。例えば要介護1や2であれば自宅で見ることはできるのに、なぜ施設に入ってしまうのか、という問題です。なぜそうなるのかを今後もう少し考えていかないと、全部施設に入ってしまうようなことになるのではないかと思ます。

会長

居宅療養の算定の問題ということですか。

委員

居宅療養をどういう現状でやっているのか把握していただくことが必要だと思います。例えば施設に入っている人と自宅の人の割合について把握されているのでしょうか。

会長

先ほどの訪問介護と同じように、分別は難しいと思ますが、今後把握できればお願いしたいと思ます。

会 議 録 要 旨

委 員 16 ページのひとり暮らし高齢者台帳登録者数ですが、独居というのは、施設に入っている人も独居の扱いになっているのか、ご自宅の人だけを指しているのか教えてください。

事 務 局 在宅でおひとり暮らしの方だけを指しております。

会 長 ありがとうございます。それでは、議題(2)につきましては、終了いたします。次に、議題の(3)、大垣市高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定のためのアンケート調査について、事務局から説明をお願いいたします。

事 務 局 ≪資料No.3 により説明≫

会 長 5つのアンケート調査がありますので、じっくり見ていただいて、次回までにご意見をいただければと思います。

基本的には前回までのものを踏襲し、国が示しているものを載せるということで、新たに付け加えることや修正などあればお願いします。

続きまして、事務局から、報告事項について説明をお願いいたします。

事 務 局 ≪資料No.4 により説明≫

会 長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

委 員 見守りシールについて、とてもいい事例を紹介いただきましたが、4月からの半年で1件の事例があったということでしょうか。他にも事例はあったのでしょうか。

事 務 局 もう1件、警察が保護した方のシールを読み取って、家族に連絡できたケースがありました。

委 員 チラシを見た人には、仕組みをわかっていただけたと思いますが、身近に事例がないとどうしてよいかわかりません。少しでも多くの方が無事にお家に帰れるといいですね。

16 ページの目標指標1 介護予防自主サークル数について、コロナ禍で開催することが難しい中で、サークルの数には変化がないようですが、活

会議録要旨

動の実績というのはいかがでしょうか。

事務局

コロナ禍においてはなかなか活動が難しいこともありますが、感染対策を行い、できるだけ継続できるよう支援に努めております。73 団体は活動を継続する方向です。また、継続できるよう若いリーダーを育てる取り組みも行っています。

委員

見守りシールを利用している方が 63 名ということですが、市内の徘徊をされている方の実数から考えて、どの程度の方が登録をされているのでしょうか。また、登録を躊躇される場合はどのようなことが理由にあるのでしょうか。

事務局

一般的に 65 歳以上の 5 人に 1 人は認知症と言われておりますので、計算上市内では約 8,900 人となります。防災無線で行方不明者の放送をしたご家庭に地域包括支援センターの職員が出向き、制度の紹介を行っております。あわせて位置情報提供サービスや初期集中支援チームの紹介などもさせていただいております。

委員

情報を聞いてすぐに登録されて、QRコードも普及すればいいかなと思います。民生委員だけでなく自治会など町内単位で知ってもらい、地域の見守りネットワークなどでの実践や模擬体験なども行っていただけるといいのではと思いました。

事務局

単年で行う事業ではございませんので、社協と協力しながらやっていきたいと思っております。

会長

初期集中支援チームに私も関わっていますが、実際に徘徊された方には必ず勧めさせていただいております。2回3回と起こりうる話ですので、積極的に周知いただいて、リスクのある方には制度があることをもっと広めていく必要があります。また、シールを貼るだけでなく、市民の方に知ってもらうことも必要です。認知症の市民公開講座などを実施していただくのもよいかと思います。

会長

そのほかよろしいでしょうか。

特に、ご発言もないようですので、最後に、事務局からお願いいたします。

会 議 録 要 旨

司 会

ありがとうございました。今後も、会議を通じて高齢者福祉計画（介護保険事業計画）の進捗状況等についてご報告申し上げ、皆さんからいただきましたご意見等を基に、各事業の見直しや改善に繋げてまいりたいと思います。

また、後日ご案内させていただきますが、来月には、第2回の会議を開催予定でございますので、よろしくお願いたします。次回の会議では、高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定のためのアンケート調査の内容等について、ご協議いただきたいと思います。

それでは、これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様、誠にありがとうございました。